

2022年度 事業報告

2020年2月から始まった新型コロナウイルス感染により日喉連活動は自粛せざるを得ない状況でした。そんな中で2022年度は、4年ぶりに全国喉摘者発声大会を開催できました。感染拡大が収束しない中でのことであり、限られた団体からの参加でしたが、大会は関係者のご努力により成功裏に終えることができました。

他活動につきましては、訓練士養成ブロック研修会は近畿ブロックのみの実施でした。活動全体としては、自粛ムードで発声教室も含め低調な活動であったといえます。

2022年度活動概要は以下の通りです。

1. 全国喉摘者発声大会開催

2022年11月19日東医健保会館において開催されました。

参加は東日本、中部及び近畿の3ブロックでした。出場者は予選会を経て、コロナ禍の状況下により近畿ブロックのみ予選会を、他2ブロックは推薦によって出場者を決定いたしました。

食道発声の部17名、EL発声8名が大会に出場しました。またデモンストレーションとして、シャント2名、笛式発声1名の会員が各々の発声を披露しました。食道発声の優勝者には厚生労働大臣賞が授与されました。

2. 会員関係について

正会員(53団体)	:	3,986人
顧問	:	2人
賛助会員・個人	:	6人
法人	:	1社
合計	:	3,995名

3. 事業関係について

① 定期年次総会(第23回)

2022年5月13日(金)、東京都障害者福社会館において開催されました。

来賓祝辞に続き、以下の4議案を審議し、原案通り承認されました。

イ)2021年度事業報告並びに決算承認の件

ロ)2022年度事業計画並びに予算案の承認の件

ハ)役員選任の件

ニ)第11回全国喉摘者発声大会開催の件

② 理事会について

(第1回)2022年5月13日(金)午前10時より東京都障害者福社会館において総会に先立ち開催され、第23回年次総会付議案件について審議し決定しました。

尚、日喉連は今後、法人税、事業税などの課税対象団体として扱われますので、2022年度の決算からはこれら税金を支払っていくことが、確認されました。

4. 訓練士養成ブロック研修会について

今年度のブロック研修会は、コロナ感染に伴い、近畿ブロック以外は中止になりました。

5. 「日喉連オンライン訓練構想(案)」について

コロナ禍で会員数が1/3減の影響を受けていることから、オンライン訓練により会員数増を今後進めていきます。

オンライン設備については、阿部 亮 財団からの助成で銀鈴会、阪喉会及び神鈴会に整備しました。

6. 「人工鼻健康保険適用による日喉連販売協力について」

保険適用により従来のように日喉連が販売手数料を受け取ることは難しくなりました。各団体の会員に対して、人工鼻の使用実態の調査を行いました。その調査結果をアトスメディカルに提供するなどの販売協力で新たな契約を進めました。

7. 日喉連からの退会について

大阪市喉会はコロナ禍等の影響で発声教室維持が難しくなったことから、退会申し入れがあり、大阪市喉会会員は阪喉会に合流することになりました。

8. 会報の発行、日喉連のPR活動

会報「日喉連」第52号の発行及びホームページを有効活用し、日喉連のPR用DVD・パンフレット等を頒布しました。

9. 会員団体相互の交流会について

新型コロナの感染対策が3年目を迎え直接の交流はできず、メール、FAX、電話に限定されました。

10. その他

慶弔関係 一 訃報

新美 典子 氏

NPO 法人日喉連名誉会長

(公社)銀鈴会名誉会長

以上